

「SDGs未来都市」に選定（2019年7月1日）

富山県SDGs未来都市計画を策定し、県のSDGsの取組みを推進（現在第2期）

将来ビジョン



『環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」』

- ① 世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ② 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県



本県が目指す「SDGs未来都市」の姿

～本県発展の原点である「水」に焦点を当てたSDGs未来都市等提案～
2030年においても「美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県」

SDGsの推進に向けた県の取組み

- ・ SDGs推進に向けた取組みを環境・経済・社会の三方面から統合的に推進
- ・ 県内の様々なステークホルダーのSDGsの達成に向けた取組みを支援
- ・ SDGsの普及啓発・ステークホルダーとの連携を促進

令和4年度SDGs推進の主な取り組み

県民総参加のSDGsの推進

○富山県SDGs連携推進フォーラム、ワークショップ

(1) 富山県SDGs連携推進フォーラム

SDGsに取り組む県民、企業・団体の皆様の連携を促進し、県内の更なる推進を図ることを目的にフォーラムを開催。



開催日時 令和4年11月18日(金)13:00～16:00

開催場所 タワー111 3階 スカイホール

参加者 会場約100名

実施内容

・第一部 基調講演「パートナーシップで進めるSDGs」
講師：金沢工業大学SDGs推進センター所長 平本 督太郎氏

・第二部 トークセッション「SDGsをどのように推進しているのか？」
パネリスト：西野 美冬氏(etincelle代表/SDGsビジネスコンサルタント)
田中 仁氏(リコージャパン(株)富山支社 支社長)
小柴 徳明氏(黒部市社会福祉協議会 課長補佐)
ファシリテーター：平本督太郎氏

(2) 富山県SDGs連携推進ワークショップ

SDGsに取り組む県民、企業・団体の皆様がSDGsの推進に向けた気づきやパートナーシップのきっかけづくりを図るためのワークショップを開催。

【富山会場】 令和4年12月12日(月)13:00～16:00 (21名参加)

【魚津会場】 令和5年1月18日(水) 13:00～16:00 (27名参加)

【高岡会場】 令和5年1月19日(木) 13:00～16:00 (16名参加)

講師：etincelle 代表 西野 美冬氏
環境市民プラットフォームとやま 堺勇人氏



カーボンニュートラルの推進

○とやまカーボンニュートラルシンポジウム

県民一人ひとりがカーボンニュートラルに取り組む意義等について理解を深め、日常生活において積極的に実践・行動するきっかけとしていただくことを目的にシンポジウムを開催。



開催日時 令和5年2月25日(土)13:00～15:30

開催場所 富山県民会館304号室、オンライン

参加者 約170人参加

【基調講演】

《テーマ》「カーボンニュートラルとは ～富山だからできること～」

講師・パネラー：橋川 武郎 氏 国際大学 副学長/
富山県カーボンニュートラル戦略策定小委員会 委員長

【先進事例紹介 & パネルディスカッション】

講師・パネラー：品川 祐一郎 氏 トヨタモビリティ富山株式会社 代表取締役社長

張田 真 氏 ハリタ金属株式会社 代表取締役

市森 友明 氏 株式会社新日本コンサルタント 代表取締役社長

八木 繁和 氏 YKK不動産株式会社 取締役

コーディネーター：宮脇 良二 氏 アークエルクノロジーズ株式会社 代表取締役CEO Founder/
富山県カーボンニュートラル戦略策定小委員会委員

○とやまカーボンニュートラル地域リーダー育成講座

カーボンニュートラルの基本や実際の取組事例を学びながら、地域の活性化につながる「カーボンニュートラル」に取り組む人材を育成する講座を開催。

開催日時 第1回：令和5年3月9日(木)、第2回：3月15日(水)

開催場所 富山県民会館301号室

講師：島田善朗氏

(北陸銀行経営企画部サステナビリティ推進グループ部長代理)

令和4年度SDGs推進の主な取り組み

環境教育の推進

〇とやま環境フェア

家庭にいながら参加できるウェブ開催及び、小規模会場での体験、体感型のリアル開催を併用し、とやま環境フェアを開催

開催日時

ウェブ会場：令和4年10月7日(金)～令和5年1月9日(月・祝)

リアル会場：令和4年10月9日(日)～令和4年10月10日(月・祝)

開催場所

リアル会場：富山市民プラザ 2階 アートギャラリー 他

実施内容

ウェブ会場：企業や団体など82団体による環境保全の取り組み紹介等

リアル会場：ステージイベント『エコフェスとやま』にて、県内でローカルSDGsの取り組みを実践している4団体によるパネルディスカッションの開催等

参加者数

ウェブ会場：閲覧ユーザー数5,840人

リアル会場：895人



ウェブ会場



リアル会場

海岸漂着物対策推進事業

〇みんなで取り組む漂着ごみ対策

県内企業や団体等が参加する「とやま海ごみボランティア部」を設立し、各メンバーが海岸や街なかでの清掃活動や身近な人に海洋ごみ問題についての理解を広める活動を実施



【設立日】令和4年7月3日(日)

【清掃活動】

- ・設立記念清掃活動
7月3日(松太枝浜、182人)
- ・海岸清掃 in 岩瀬浜
10月22日(岩瀬浜、141人)
- ・清掃活動 in 魚津
11月23日(魚津市役所周辺、31人)



海岸清掃 in 岩瀬浜

【学びの場】

海岸漂着物の現況や清掃活動方法等を学ぶ講座「学びの場」を3回開催(計52人)



学びの場

〇岐阜県と連携した海岸漂着物対策

県内の海岸に漂着するごみの約8割が県内河川を通じて海に流れ出したものと考えられていることから、上流県である岐阜県と連携した海岸漂着物対策を実施

- ・同日に清掃活動の実施(10月22日)
- ・両県で情報を発信



とやま環境フェアでのパネル展示

令和4年度SDGs推進の主な取り組み

とやまの清らかな水環境の保全活動の促進

○水循環に関する環境観察会の開催

若い世代を対象に本県の豊かで清らかな水環境に理解を深め、保全活動への参加を促すため、令和4年7～8月に「とやま森・川・海の環境観察会」を開催(小学生とその保護者190名が参加)



森と地下水の環境観察会



川の環境観察会



海の環境観察会

○名水巡りツアーの開催

本県の恵まれた水環境の魅力を再発見し、また、水環境保全の重要性を理解してもらうため、令和4年8月に「名水巡りツアー」を開催(小学生とその保護者42名が参加)



清水庵の清水

○水環境保全活動体験会の開催

地域の団体が行う水環境保全活動へ若者の参加を促進するため、令和4年11月に「水環境保全活動体験会」を開催(大学生等51名が参加)



清掃美化活動

「富山のさかな・水産加工品」ブランド化の推進

○シーフードショー出展による魅力発信

「富山のさかな」の販路拡大をめざす事業者等と共同で国内最大級の水産見本市に「富山県ブース」を出展

[ジャパン・インターナショナル・シーフードショー]

開催期間: 令和4年8月24日～8月26日

開催場所: 東京国際展示場 “東京ビッグサイト”

[シーフードショー大阪]

開催期間: 令和5年2月21日～2月22日

開催場所: ATCホール(アジア太平洋トレードセンター内)

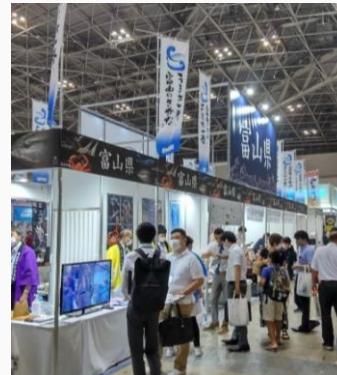
○鮮魚の北陸新幹線輸送

東京駅への新幹線輸送費を支援し、富山湾のブランド魚種を首都圏の飲食店等で提供

[令和4年度実績]

輸送回数: 14回(富山駅発4回、金沢駅発10回)

輸送品目: シロエビ、ベニズワイガニ、アカムツ、キジハタ 等



令和4年度SDGs推進の主な取組み

企業参画型エシカル消費PR事業

○小売事業者等によるエシカル消費PRの支援

エシカル消費を県民に浸透させるため、県内の小売事業者と連携したPRや啓発イベントを開催

連携企業: アルビス(株)、イオンリテール(株)、(株)大和富山店、とやま生活協同組合

期間: 令和4年10月から令和5年3月

※業者によって実施期間は異なる

内容:

- ①啓発用ポスター、チラシ、POP、のぼり旗の設置
- ②「地産地消」、「食品ロス削減」、「認証マーク」特設コーナー等の設置
- ③エシカルクイズイベントの開催
- ④エシカルレシピコンテストの開催
- ⑤チラシ、店内放送、HPによるPRなど

○エシカル消費に関するシンポジウムの開催

日時: 令和4年10月7日(金) 場所: 富山県民共生センター

内容:

- ①ファッションジャーナリスト 生駒芳子氏による基調講演
テーマ「エシカルファッションが未来の扉を開く！」
～人にも地球にもやさしいファッションとは?～」
- ②販売業・林業・水産業関係者・消費者によるエシカルセッション
テーマ「エシカル消費と消費者志向経営で循環型社会をつくっていこう！」

○消費生活研究グループによるサステナブルファッション習慣のすすめ

県消費者協会が育成し、地域で活動する「消費生活研究グループ」が「ファッションのロス」について調査研究し、消費者大会で発表

食品ロス削減の取組み

○フードドライブマッチング推進事業

家庭由来の食品ロスのうち「手付かず食品」の有効活用策となる「フードドライブ」について、以下の取組みを実施

- ・ 様々な主体にフードドライブの実施を呼びかけ、PRする「とやまリレーフードドライブ・キャンペーン」を展開。

実施件数: 67件(51団体により、14市町村で開催)

※2月21日時点(予定含む)

- ・ 効率的な運営(窓口の無人化)に向け、県内スーパー等への水平展開を進めるとともに、各地域や実施主体の実情に応じた多様な循環モデルの構築に取り組んだ。



件数: 4件

アルビスパスコ店(射水市) バロー魚津店

- ・アルビスパスコ店 提供先: 射水市母子寡婦福祉連合会
- ・バロー魚津店 提供先: 魚津市社会福祉協議会
- ・バロー高岡木津店 提供先: 高岡市母子寡婦福祉会
- ・ショッピングセンターパル 提供先: 上市町社会福祉協議会(調整中)
- ・ 高校生を対象に、フードドライブについての出前講座やアイデアコンテストを開催。



出前講座

アイデアコンテストの表彰

フードドライブの実践行動

令和4年度SDGs推進の主な取組み

女性の活躍推進

〇「とやま女性活躍企業」認定制度

企業の成長とウェルビーイング(真の幸せ)の実現に向けて、女性が活躍する県内企業等を県が認定し、公表する新たな制度を創設。

中小企業等において女性が活躍しやすい職場づくりを後押しするとともに、「選ばれる企業」としてのブランド力向上と優秀な人材確保を支援。

【認定基準】

- ・女性の管理職比率
 - ▶産業ごとの全国平均値以上
- ・時間外労働等の時間数
 - ▶各月ごとに全て45時間未満
- ・女性活躍推進に向けた取組み
 - ▶具体的な取組みを1つ以上行っている
- ・男女共同参画チーフ・オフィサーの設置等



【認定企業】

令和4年9月1日 第1回認定証交付式において、32社を認定



パートナーシップ宣誓制度

〇富山県パートナーシップ宣誓制度



すべての県民が個人として尊重され、多様性を認め合い、誰もが安心して心豊かに暮らせる人権尊重社会を目指すとともに、県民一人ひとりのウェルビーイングの向上に繋がる取組みとして、令和5年3月1日から開始。

【パートナーシップ宣誓とは】

お互いをかけがえのないパートナーであることを約束する二人が、知事に対し、パートナーと共同して、パートナーシップにあることを宣誓するもの。県は、お二人の関係性を証明する「受領証」を交付。

【宣誓をすることができる方】

お二人が以下の条件を満たす必要がある。

- (1)成年に達していること
- (2)いずれか一方が、県内に住所を有しているか又は県内への転入を予定していること
- (3)現に婚姻していないこと
- (4)現に宣誓をしようとする相手方以外の者とパートナーシップにないこと
- (5)宣誓に係るパートナーと直系血族若しくは三親等内の傍系血族又は直系姻族でないこと

【宣誓件数】

4件(令和5年3月8日時点)

令和4年度その他の取組み

経済



○黒部ルート等プロモーション事業

- ・令和6年度の黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放・旅行商品化を見据えたプロモーションの実施及び旅行商品の魅力を発信

○立山黒部滞在周遊促進・魅力創出検討モデル事業

- ・立山黒部地域の長期滞在周遊実現に向けたツアーやイベント、モビリティの実証

○富山湾岸サイクリングコース首都圏等情報発信強化事業

- ・県内外からの誘客をはかるため、サイクリング専門誌やSNS等による情報発信を実施

○「世界で最も美しい湾クラブ」情報発信事業

- ・NCR指定を記念し、富山湾岸サイクリングコース上にモニュメント等を設置

○とやまの農林水産物輸出促進事業

- ・輸出に取り組む事業者・支援者のコミュニティの創出などの連携促進、商流・物流の創出・拡大、個別事業者の発展段階に応じた支援等を品目横断的に実施

○カーボンニュートラルポート形成計画策定事業

- ・伏木富山港において、臨海部立地産業と連携して脱炭素化を推進するための計画を策定

○県営水力発電所リプレース事業

- ・4発電所（庄東第一、大長谷第二、仁歩、若土）の全面的更新の実施

○富山県カーボンニュートラル戦略の策定

- ・世界的な潮流を踏まえ、本県におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進する戦略を策定

令和4年度その他の取組み

社会



○環境学習用電子ブックの作成

- ・富山県の環境を題材にした小中学生向けの環境学習用の電子ブックを作成

○海洋教育推進事業

- ・海洋教育を支援するWebアプリを開発し、アプリを用いて学校での出前授業を実施

○とやま環境未来チャレンジ事業

- ・小学校で地球温暖化・3R・食品ロス対策等に関する学習プログラムを実施

○エコな配達推進事業

- ・県民・事業者・行政が連携協力して再配達を減らす取組み（宅配便の職場受取りの試行等）を実施

○食品ロス・食品廃棄物削減対策事業

- ・フードバンク活動拡大事業、期限間近商品の優先購入促進のためのポスター等における啓発等

○食育推進全国大会準備事業

- ・食育推進全国大会（令和5年6月開催）に向けた実行委員会の開催及び企画立案等の実施

○「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業

- ・酒造業者とのマッチング（酒粕、ワイン粕）、酒粕を給与した「とやま和牛 酒粕育ち」の販売開始

○プラスチック地域循環促進事業

- ・県内の廃棄物やバイオマス資源を活用した新たなプラスチック製品の再商品化を検討・実施

令和4年度その他の取組み

環境



- **生物多様性保全推進プランの策定**
 - ・生物多様性保全推進プランの改定、県民向けの普及啓発の実施
- **ナチュラリスト活動事業**
 - ・ナチュラリスト活動への支援、ナチュラリストとジュニアナチュラリストの連携推進
- **北東アジア地域の環境保全の推進**
 - ・NEAR環境分科委員会の運営、「2016とやま宣言」に基づくプロジェクトを実施
- **災害廃棄物処理体制強化促進事業**
 - ・適切かつ迅速な災害廃棄物の処理に向け、初動対応や仮置場の設置・運営に係る訓練を実施
- **イタイイタイ病の教訓の継承と発信**
 - ・開館10周年を迎えた県立イタイイタイ病資料館において、特別企画展、語り部事業、小中学校の課外学習の受入れ、外国語のリーフレットの作成等を実施
- **富山県林業イノベーション推進総合対策事業**
 - ・県内へのスマート林業の普及・推進を図るため、ICT等新たな技術の活用により安全性の向上や効率化の実証実験を実施
- **里山再生整備事業**
 - ・県民参加による里山林整備、地域住民の維持管理活動支援
- **早生樹等を活用した地域循環共生圏構築モデル事業**
 - ・中山間地域の活性化につなげるため、荒廃農地等で成長に優れた早生樹等を植栽し、バイオマス燃料として活用するモデル事業を実施

令和5年度SDGs推進に向けた主な取組み

- **黒部宇奈月 Canyonルート一般開放 6,220万円**
令和6年の「黒部宇奈月 Canyonルート」の一般開放に向けたガイド養成、開業イベント、国内外の各種媒体を活用したPRを実施
- **立山黒部アルペンルート持続可能性調査支援事業 6,900万円**
立山黒部アルペンルートの全体構想の策定に向けた基礎調査、観光客の利便性向上のためのDX等への支援
- **サイクルツーリズム情報発信事業 1,500万円**
SNSを活用した情報発信や、北陸三県で連携したモバイルスタンプラリー等を実施
- **とやまの農林水産物輸出促進事業 1億2,255万円**
輸出ビジネスに関する専門家派遣、市町村と連携し輸出に意欲的な事業者を支援、地域商社を中心とした輸出プラットフォームの形成等
- **カーボンニュートラル推進事業 628万円**
民間事業者等からの提案募集により、県民や事業者等の行動変容のきっかけを創出し、カーボンニュートラルの意義や必要性への理解促進を図る。
- **小水力発電導入可能性調査事業 2,000万円**
小水力発電の導入拡大に向けて、河川や上下水道等を対象とした導入可能性調査などを実施
- **再生可能エネルギー導入促進事業 2億8,200万円**
県民や県内企業に対し、自家消費型の太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援
- **脱炭素化モデル中小企業育成事業 980万円**
県内の中小企業を対象に、脱炭素経営に関するセミナーや検討会を開催し、脱炭素経営のモデル企業を育成

令和5年度SDGs推進に向けた主な取組み

○食育推進全国大会の開催 6,000万円

本県の豊かな自然に恵まれた食の魅力や食育の取組みを県内外に発信するため、「第18回食育推進全国大会inとやま」を開催

○家庭系食品ロス実態調査事業 954万円

食品ロス削減の取組みのデータとするため、家庭で発生する食品ロス・食品廃棄物についての実態調査を実施

○プラスチックごみリサイクル支援マッチングサイト構築事業 500万円

廃プラスチックの排出事業者とリサイクル業者、プラスチック製品メーカーによる新たな連携を支援

○災害廃棄物処理体制強化促進事業 500万円

災害廃棄物を適切かつ迅速に処理するため、災害廃棄物の仮置場の設置・運営に係る訓練を実施

○森林J-クレジット導入モデル事業 200万円

カーボンニュートラルを推進するため、森林J-クレジットの創出をモデル的に実施するとともに、民間への普及を促進するためセミナーを開催

○県民総参加のSDGs連携促進事業 770万円

富山県SDGs宣言を行った企業・団体等がSDGsにかかる取組みを通じ、パートナーシップミーティング等において連携を図る場を設置

○SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 203万円

新たにインクルーシブ教育推進員を配置し、インクルーシブ教育システムの理念の普及や推進員による学びの場の見直しに関する助言、好事例のPR

富山県SDGsパートナーシップミーティング(仮称)の開催(案)

【趣旨】

SDGs宣言企業・団体等を対象に、パートナーシップミーティングを開催し、SDGsに取り組んでいる企業・団体の更なる連携促進及びSDGsの効果的な取組みに繋げる。

(詳細はプロポーザルを実施して決定)

【開催概要】

2023年夏頃

リアル開催(富山市内、オンライン同時配信予定)

- ・基調講演、県内企業事例紹介 等
- ・参加者は富山県SDGs宣言企業・団体、その他県内企業・NPO等の団体、大学生、一般県民、県内市町村から 約100名程度を想定

2023年夏以降

オンライン開催、5回程度

- ・講演会メインの回とグループワークメインの回を設定
- ・各回、テーマ(「カーボンニュートラル」等)を設定
- ・参加者は富山県SDGs宣言企業・団体等 30~50名を想定
(これからSDGs宣言企業等をしようとする企業を含む)